

富士山とクマガイソウを見に行こう  
倉見山

実施日 2018年4月29日(日)  
天候 快晴  
リーダー 白石 恵美子  
参加者 福島政幸、涌井良明、山崎富智恵、白石恵美子、石附恵、中村友子、伊藤久雄、石原勝正、宇野輝代、徳山敬子、瀧澤きよの、白石佐恵、児玉章、宮崎敏男 計14名  
費用 3,284円(立川起算)  
タイム 東桂駅(8:46-9:00)倉見山登山口(9:19-9:24)鉄塔(10:19)倉見分岐(11:00)倉見山(11:35-12:22)相定ヶ峰(12:31-12:36)クマガイソウ群生地(14:23-14:50)三つ峠駅(15:20)

駅を背にして国道139号に出て右へ向かう。鹿留方面の三叉路で左折。長泉院という寺の先の墓地の中にある道から登山道に入る。



のっけからの樹林帯の急登の疲れも、目の覚めるような新緑や、ヤマツツジ、ハルリンドウなどが癒してくれる。

鉄塔を過ぎ、穏やかな尾根道を辿っていくと、道が二手に分かれ、左手にピンクのリボンがあったため、Lと二人目だけそちらへ進んだが、道が荒れており、進めなくなる。3番目以降のメンバーはすぐに上がって右手の道に戻ったが、Lと二人目は急斜面を四つ

戻ると上の道に上がる人も少ないが、下から来た登山者に聞いた「前に行きましたよ」と言われ、笛の音を頼りに進み、めでたく皆と合流。皆と同じようにすぐに戻れば良かったと反省！



更に少し進んで三つ峠駅へ通じる分岐に達する。山頂手前の急登を経て倉見山山頂に到着。



おりがは。写マ地  
り山頂は。集合ク生  
ど山頂は。集ク生  
句富士山、群  
文なる。広く、ソ  
いさる。後撮ソ  
謳大見あ昼真ガ

の方角へ下山の開始。少し下ったところ「見晴台」があり、富士山が綺麗に見える。下りには岩や木の根もなく、全般的に緩やかで歩きやすい。標識もきちんとしており、迷う心配もない。



約1時間20分で堂尾山公園に着く。朽ちかけた東屋があるのみだが、「富士山を正面に市街地の全景が見渡せ、東に杓子山、西に大室山、遠方には三ツ峠、丹波山系と360°の大パノラマが広がる」とネット情報にはあるが、景色より食欲が勝っていたのはLだけ？



更に標識を頼りにルンルンの下りを経て、「クマガイソウ群生地」に到着。参加者の皆さんの日頃の行い故か丁

度クマガイソウの最盛期にバッチリ。数えきれないほどのクマガイソウに暫し撮り会。非常に珍しい双子のクマガイソウも見られてラッキー！



実を言うとL自身も初めて見る花だ。花を堪能した後は30分程で本日のゴールの三つ峠駅に到着。

今日の山は登山道も標識もよく整備されており、歩きやすかった。途中出合ったボランティアと思いき方々に感謝感謝です。そして、今日の山行に参加して下さった皆さん、お疲れ様、そしてありがとうございました。また一緒に歩いていただけたら幸いです。

(記・白石 恵美子)

(写真提供・涌井 良明/石原 勝正)